

2021年度 予算のお知らせ

2020年度 決算 見込み

2020年度の決算は、収入39億6,537万円、支出27億5,259万円となり、収支差し引きで12億1,278万円の黒字となる見込みです。財政の健全化を示す経常収支でも2億1,769万円の黒字を見込んでいます。これは、医療費等に充てられる保険給付費が低かったことによるもので、コロナ禍の影響を受け、受診控えにより医療費支出が低くなったものと思われます。しかしながら、保険料収入の4割近くを占める納付金（前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等）の増加には、引き続き注視していかなければなりません。

2021年度 予算概要

2021年度の経常収入は、27億6,259万円、経常支出は、29億2,269万3千円となり、経常収支差し引きでは1億6,010万3千円の赤字予算となりました。高齢者医療制度などにより国へ納める納付金は10億2,622万6千円となりました。納付金の負担は今後も増加すると推測されるため、準備金等の蓄えを保つ必要があります。

予測が難しい医療費の動向

2020年度におけるコロナ禍の影響による受診控えが、2021年度もどの程度持続するのか予測することは難しい状況です。医療費が増加傾向になった場合や、不測の高額医療が発生した場合を勘案して、2021年度の保険給付費は14億8,472万2千円の予算としました。

皆さんの健康を守る事業を効率化

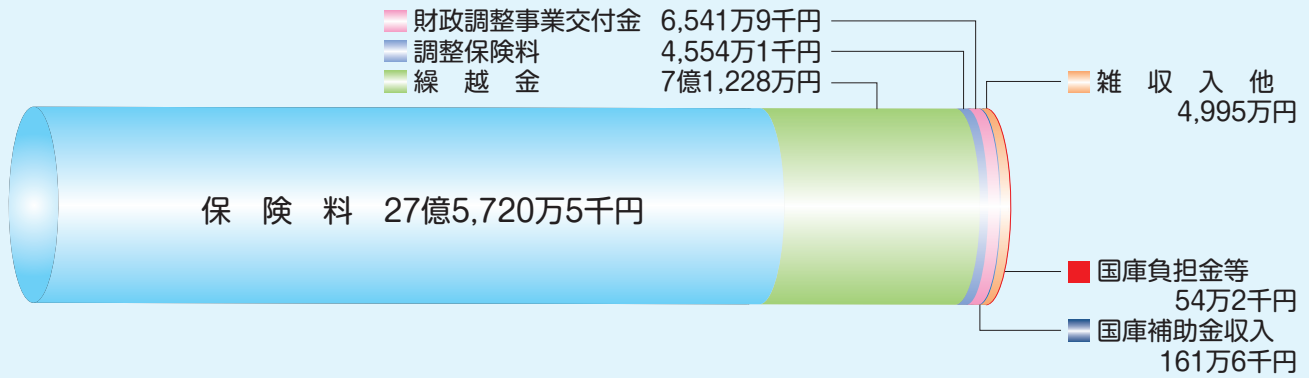
皆さんの健康を守るために支出する保健事業費には3億1,330万3千円を充て、健診事業等に引き続き注力していくとともに、特定保健指導プログラムや重症化予防の保健指導をより効率的に実施してまいります。

健康保険組合としましては、一層の経費の削減および効果的な健康増進事業を実施してまいります。皆さんにおかれましては、保健事業をご活用いただき健康な身体づくりを目指していただくとともに、適正受診等、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

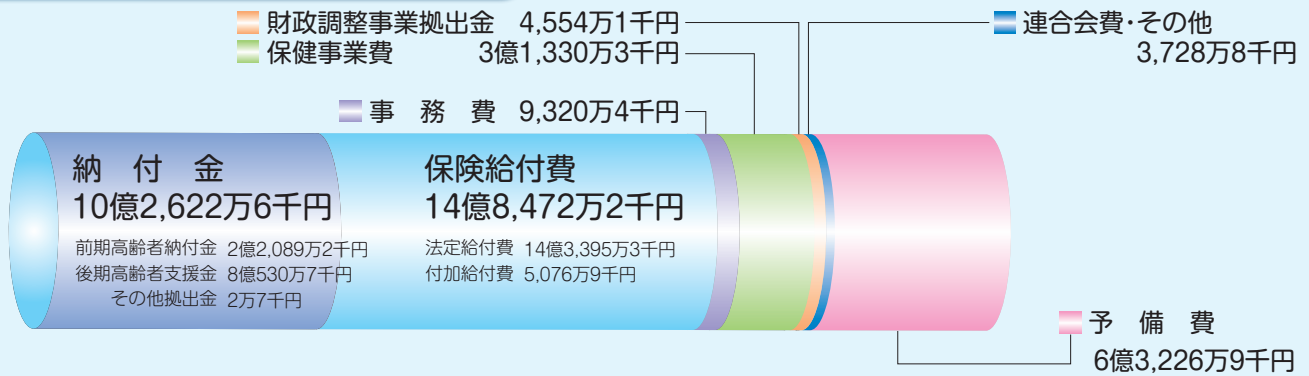
介護保険

介護保険料率を20%へ引き上げたことにより、保険料収入は2020年度に比べ1億9,438万1千円増の5億2,761万6千円と見込んでいます。一方、介護納付金は4億3,871万3千円と見込んでおり、2020年度に一般勘定から受け入れた4,500万円の返還を含め、4,390万3千円の黒字予算となりました。しかし、年度の初期は納付金支払いに保険料収入が不足するため、一般勘定から3,000万円を繰り入れ月次の納付金の支払に充てます。

収入 36億3,255万3千円



支出 36億3,255万3千円



健康保険

予算総額 36億3,255万円
 経常収入 27億6,259万円
 経常支出 29億2,269万円
 経常収支 ▲1億6,010万円

予算基礎数値

被保険者数 3,967人
 男性 2,905人
 女性 1,062人

平均年齢 43.76歳
 男性 44.48歳
 女性 41.55歳

被扶養者数 5,143人

前期高齢者加入率 0.480769%

保険料率 (調整保険料率含む) 83.00/1000

(事業主 51/1000 被保険者 32/1000)

介護保険

予算基礎数値

介護保険第2号 2,756人
 被保険者たる被保険者数

介護保険料率 20.00/1000
 (事業主・被保険者折半)

予算の概要

(単位:千円)

収入	科目	予算額
	介護保険収入	527,616
	繰入金	1
	雑収入他	2
	一般勘定受入	30,000
	合計	557,619

支出	科目	予算額
	介護納付金	438,713
	還付金	800
	積立金	100
	一般勘定繰入	45,000
	雑支出	110
	予備費	72,896
	合計	557,619